



「安全性と確実性を重視」62.6%
資産運用の情報は「インターネット」から65.0%

資産運用についての考え方を聞いてみると、「安全性と確実性を重視」が62.6%と最も多く、次いで「リスクもリターンも中程度でバランスを重視」31.3%。また、「利用する金融機関の専門家(コンサルタントなど)の意見を重視」20.7%という層も2割いた。(グラフ)

資産運用の情報はどこで入手するかを聞いてみると、「インターネット」が65.0%と圧倒的。次いで「新聞」30.9%、「金融機関の窓口」30.9%、「専門誌・紙」26.9%、「知人・友人」23.4%と続く。(グラフ)

資産運用について相談する相手については、「金融に詳しい人に無料で相談(金融機関の窓口や社員など)」が58.4%と約6割、次いで「親」39.1%、「知人・友人」36.4%であった。(グラフ)

資産運用について考えるきっかけは「将来への不安」が圧倒的

投資商品を購入したことがある人に初めて投資商品を購入したきっかけを聞いてみると、「預金がある程度貯まった」31.5%が最も多く、次いで「金融機関からの提案」19.6%、「キャンペーン」16.3%、「相場が良かった」14.1%が挙げられた。(グラフ)

資産運用について考えるきっかけについては、「将来への不安」が60.2%と圧倒的。次いで「まとまった資金ができたから」24.9%、「親・親戚・家族からのすすめ」14.9%となった。(グラフ)

資産運用を勉強するのに有効だと思う手段を聞いてみると、「セミナーに参加する」58.3%が最も多く、次いで「専門家に相談する」40.4%、「雑誌や書籍の入門書を読む」38.6%、「WEBサイトなどで独自に勉強する」34.9%となった。(グラフ)

<回答者プロフィール>

年齢：24歳以下3.6%、25～29歳35.4%、30～34歳41.1%、35歳以上19.8%。平均年齢31.0歳。居住地：東京都60.7%、埼玉県14.1%、神奈川県14.1%、千葉県11.1%。未既婚：未婚73.9%、既婚26.1%。暮らし：親と同居41.6%、1人暮らし25.8%、夫婦2人暮らし18.2%、夫婦と子供7.3%、その他7.0%。職種：事務系79.9%、専門・技術系9.7%、営業系6.4%、販売・サービス系2.1%、その他1.8%。雇用形態：正社員70.8%、派遣社員19.5%、嘱託・契約社員5.8%、パート・アルバイト2.4%、その他1.5%。

<調査実施>シティリビング

シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

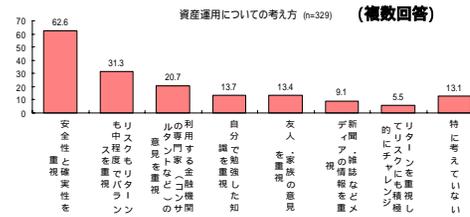
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

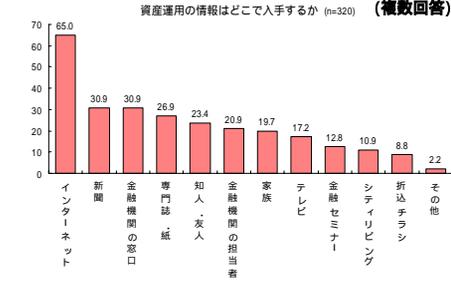
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

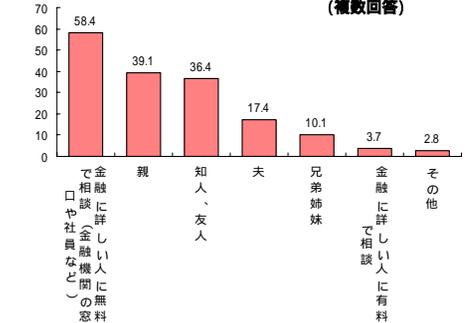
グラフ



グラフ



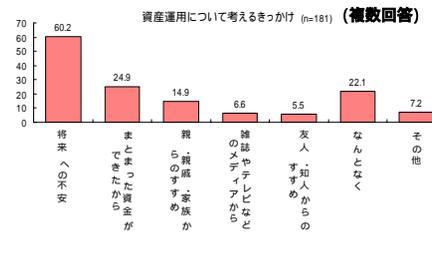
グラフ



グラフ



グラフ



グラフ

